

令和8年度事業シート

施策 1-1 災害から生命を守るまち



No.	1	事業名	区民の自助力向上	予算	区分	継続
担当課	総務課	関係部署(所)	-			
事業目的	区民一人ひとりの防災意識を高め、より多くの区民が防災対策に取り組むよう促すことで、地域防災力の向上を図る。					
事業内容	<p>1 ハザードマップ等を活用した啓発 各種訓練や市政出前トーク等の機会を捉え、「ハザードマップ」や「名古屋市防災アプリ」を活用し、災害リスクや避難経路の確認、簡易トイレ等の防災用品の備蓄、避難情報の入手等、区民一人ひとりが取り組む防災対策についての啓発を行う。</p> <p>2 広報媒体を活用した啓発 広報なごやや区公式ウェブサイト、SNS 等の広報媒体を活用し、防災に役立つ情報を発信する。</p> <p>3 新成人に向けた防災対策に係る啓発事業 家庭での防災対策や地域の防災活動への参加等と呼びかけるリーフレットと防災グッズを組み合わせた区独自の啓発物資を作成し、成人の日記念行事において他の記念品と併せて配布する。</p> <p>4 防災講演会の開催 災害時の避難行動や避難生活に役立つテーマの区民向け講演会を開催する。</p>					
目標	①成人の日記念行事における啓発物資の配布 ②防災講演会の開催	R8 目標	R7 実績			
		①全該当者 ②1回	①全該当者 ②1回			

令和 8 年度事業シート

No.	2	事業名	災害対応体制の強化	予算	区分	継続
担当課	総務課	関係部署(所)	消防署ほか			
事業目的	災害発生時に区本部として、関係機関と連携しながら円滑な災害対応を行うことができるよう、体制の強化を図る。					
事業内容	<p>1 区本部運営訓練の実施 災害発生時に区本部として必要となる対応について、各区隊と連携した職員向けのロールプレイング型訓練を実施する。</p> <p>2 関係機関と連携した訓練の実施 総合水防訓練、総合防災訓練について、学区や関係機関と連携しながら、住民参加型の訓練を中心とした内容で実施する。また、区社会福祉協議会及び名古屋なかがわ災害ボランティアネットワークと協働で災害ボランティアセンター訓練を、中川警察署等と協働で遺体安置所訓練を、それぞれ実施する。</p>					
目標	区本部運営訓練 総合水防訓練 総合防災訓練 災害ボランティアセンター訓練 遺体安置所訓練	R8 目標	R7 実績			
		各 1 回	各 1 回			

No.	3	事業名	地域の防災活動への支援	区分	継続
担当課	総務課	関係部署(所)	消防署ほか		
事業目的	学区ごとに行われる防災訓練等の防災活動が、より効果的な内容となるよう支援することで、地域防災力の向上を図る。				
事業内容	<p>1 避難所における資機材等の確認 主要な避難所となる小中学校等において、施設の開錠方法の確認や資機材の点検と操作訓練等を学区とともにを行い、円滑な避難所運営体制づくりを促進する。</p> <p>2 自主防災組織への活動支援 自主防災訓練等の防災活動に対し、消防署等と連携して自助力・共助力の向上につながる活動支援を行う。</p>				
目標	避難所における資機材等の操作確認	R8 目標	R7 実績		
		24 学区	24 学区		

令和 8 年度事業シート

No.	4	事業名	専門家に学ぼう！避難所開設・運営訓練	予算	区分	新規
担当課	総務課	関係部署(所)	-			
事業目的	南海トラフ地震等の大規模災害に備え、避難所開設・運営訓練の内容を充実させることにより、地域の災害対応力の向上を図る。					
事業内容	<p>1 避難所開設・運営に係る訓練メニューの作成 被災地での従事経験のある専門家とともに、災害発生直後に地域住民の力で避難所を開設・運営するために必要なノウハウを学べる訓練メニューを作成し、各学区に提供する。</p> <p>2 訓練メニューを活用した地域住民向け訓練の実施 専門家による指導の下で、地域住民向けの避難所開設・運営訓練を実施する。</p> <p>3 訓練メニューを活用した訓練の実践報告会の開催 地域の防災リーダー向けに実践報告会を実施し、訓練メニューの内容を周知する。</p>					
目標	①地域住民向け訓練の実施 ②実践報告会の開催	R8 目標		R7 実績		
		① 2回 ② 1回	-			

No.	5	事業名	子育てサロン等での子育て世帯への防災啓発	区分	新規
担当課	保健予防課	関係部署(所)	-		
事業目的	乳幼児のいる家庭が災害時の行動を学び、個々の家庭にあった物品等を日常生活から備えることができるようにする。				
事業内容	<p>1 子育てサロン会場等での防災啓発講話の実施 各学区で開催されている子育てサロン等にて、災害時の行動等を学び、日常生活からの備えができるよう乳幼児とその保護者を対象に保健師等が講話を行う。</p> <p>2 3(4)か月児健康診査(2日目)での防災啓発講話の実施 3(4)か月児健康診査(2日目)にて、災害時の行動等を学び、日常生活からの備えができるよう対象者(主に第1子の保護者)に保健師が講話を行う。</p>				
目標	①子育てサロン会場等での防災啓発講話の実施 ②3(4)か月児健康診査(2日目)での防災啓発講話の実施	R8 目標		R7 実績	
		① 6回 ② 36回	① 3回 ② 36回		

令和 8 年度事業シート

施策 1-2 犯罪や交通事故から 生命と財産を守るまち



No.	6	事業名	安心・安全な未来を子どもたちへ	予算	区分	継続
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	区役所や関係機関が地域の行う防犯活動を支援することにより、活動の活性化を図るとともに、子どもたちが犯罪や事故から守られるまちを目指す。					
事業内容	1 重点学区に対する防犯活動支援 今年度の刑法犯発生件数が多い学区を重点学区として選定し、地域の実情に応じた啓発や、防犯活動の効果を高める機会として防犯講演会を開催し、地域での防犯活動を支援する。					
目標	防犯講演会の満足度	R8 目標		R7 実績		
		80%		-		

No.	7	事業名	防犯対策の推進	予算	区分	継続
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	犯罪発生状況に応じた啓発キャンペーンや啓発活動により、区民の防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪抑止につなげる。					
事業内容	1 啓発キャンペーンの実施 (1) 広報活動・啓発キャンペーンの実施 生活安全市民運動期間(年4回)を中心に、警察署と連携して犯罪発生状況に応じた効果的な啓発キャンペーンを実施する。 (2) 高校生と連携した啓発活動 区内高校の協力を得て、スーパーマーケット等の集客施設で高校生と一緒に作成した啓発物品を用いた防犯キャンペーンを行うとともに、SNSで活動を広く発信する。また、青色パトロール用啓発音源を高校生の声で作成する。 2 犯罪注意マップの作成 警察署と連携し、住宅対象侵入盗、自動車関連窃盗、特殊詐欺被害の発生状況を各地域の地図に記載した「犯罪注意マップ」を年4回作成し、各学区に配布するほか、区公式ウェブサイトに公開する。					
目標	区内3高校との協働による啓発キャンペーンの実施	R8 目標		R7 実績		
		3回		3回		

令和 8 年度事業シート

No.	8	事業名	交通安全対策の推進		予算	区分	継続
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署				
事業目的	啓発キャンペーンや交通安全教室の実施、交通事故発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区民の交通安全意識を高め、交通事故の抑止につなげる。						
事業内容	<p>1 啓発キャンペーン等の実施</p> <p>(1) 啓発キャンペーン等の実施 交通安全市民運動期間（年 4 回）を中心に、交通事故抑止キャンペーンを地域・警察署と連携し実施する。</p> <p>(2) 園児及び小学生対象の交通安全教室や高齢者向け交通安全講話の実施 交通指導員による交通安全教室の実施により園児・児童の効果的な交通安全意識の向上を図る。高齢者が集まる機会を捉えて交通安全講話を実施し、交通事故防止の対策について普及啓発を図る。</p> <p>(3) 中川区マスコットキャラクター「ナッピー」の反射材の配布 「ナッピー」の反射材を小学校入学児童に配布することで、児童とその保護者に対して啓発を行い、家庭内から交通安全意識の向上を図る。</p> <p>(4) 交通安全広報の実施 警察署・関係団体と連携し、様々な広報媒体や SNS、メディアの活用により、広く交通安全思想の普及を行う。</p>						
目標	交通安全教室の実施 区内全学区	R8 目標		R7 実績			
		全学区		全学区			